



レニーと学ぼう! インスリンポンプサークル  
**Insulin pump Circle**

CGM編

No. **5**

「『グルコース値なし』が出たときの原因と対策を理解しましょう」の巻



**Q**

なぜ『グルコース値なし』が起こるの？



**A**

センサを装着するときにセンサを損傷してしまったり、正しく留置できなかったりすることが大きな原因なんじゃ。

その他の原因も考えられるんじゃが、適切にセンサの使用を継続するにはセンサを正しく装着することが一番のポイントなんじゃよ!

『グルコース値なし』とISIG (電流値) 履歴のポンプ画面

グルコース値なし



ISIG (電流値) が 2~200nA の範囲外である場合や、大きく変化した場合に生じます。

ISIG履歴

時刻	mg/dL	ISIG
23:43	152	54.43
23:38	151	54.44
23:33	150	54.43
23:28	149	54.43
23:23	150	54.43

メニュー>履歴>ISIG履歴  
 ISIG履歴はセンサ機能がオンになっている場合に確認することができます。

考えられる主な原因

センサのISIGが2nA未満の場合

- ・センサが正しく装着されていない
- ・装着時にセンサが損傷した

ISIGが200nA以上の場合

- ・センサの接続部に水分が入っている
- ・センサが正しく装着されていない

ISIGが大きく変化している場合

- ・センサの接続部に水分が入っている
- ・装着時にセンサが損傷したり抜けている

適切にセンサの使用を継続するには  
**センサを正しく装着することが大事なんじゃぞ!**





## Check point!

- ・ センサを装着する際にセンサの損傷がなかったか、正しく装着できたか、もう一度装着手順を確認してください。※装着手順はユーザガイドをご確認ください。
- ・ 必要に応じ、テストプラグを使用してトランスミッタの作動確認をしてください。

「グルコース値なし」が表示されている※

※この他にも較正許容範囲外アラートの発生後に「グルコース値なし」が表示されることがあります。その場合には『インスリンポンプサークルNo.6』をご確認ください。

装着部位/接続部をチェックする

- ・ センサが完全に装着されているか
- ・ センサとトランスミッタの接続部がしっかりと接続されているか
- ・ センサとトランスミッタの接続部が乾燥しているか

ISIG履歴を確認し、2未満の場合は  
センサの交換を検討する

テストプラグを使用し、トランスミッタの作動を確認する

トランスミッタの点滅を確認できた

いいえ ↓

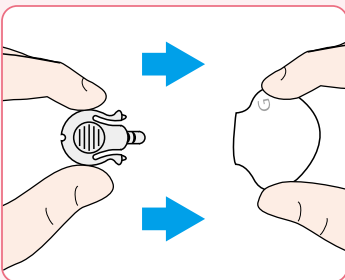
はい ↓

サポートラインへ  
お電話ください

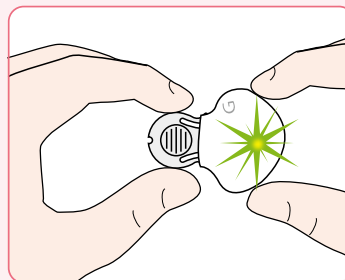
センサによる測定を続ける

事象が解消しない場合は  
センサの交換を検討する

## テストプラグを使用してトランスミッタの作動を確認してみましょう



トランスミッタに  
テストプラグを接  
続します。



トランスミッタのラ  
イトが点滅するか  
を確認します。

製品を安全にご使用いただくため、必ず添付文書とユーザガイドを併せてご確認ください。

日本メドトロニック株式会社

ダイアピーティス事業部  
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

[medtronic.co.jp](http://medtronic.co.jp)

販売名:メドトロニック ミニメド 600 シリーズ  
医療機器承認番号:22500BZX00369000

販売名:メドトロニック iPro2  
医療機器承認番号:22300BZX00435000

インスリンポンプやパーソナルCGMの使用法、アラーム対処などの  
トラブルでお困りのときは下記へご連絡ください



24時間  
サポートライン 0120-56-32-56

製品の使用方法やよくある質問などをご紹介しています。

[www.medtronic-dm.jp/](http://www.medtronic-dm.jp/)

パソコン、スマートフォンやタブレット端末からもアクセスできます。

